



2003.10.12(日)-11.24(月・祝)

写真と絵画の展覧会



さむらい

日本のダンディズム

SAMURAI—DANDYISM in JAPAN



ノ谷・宇治川合戦図屏風 制作者不詳 江戸時代初期 埼玉県立博物館蔵



代田山村侯右衛門の栄慶卿守 流光斎如主 寛政五、七、九三年 千葉県美術館蔵



野々村忠実像
チャールズ・ドフォレスト・フレデリック
万延元(1860)年
東京都写真美術館蔵

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間 ■ 10:00—18:00(木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前)

休館日 ■ 毎週月曜日(休館日が祝祭日の場合は翌日)

観覧料 ■ 一般500(400)円 学生400(320)円

中高・65歳以上250(200)円

※()20名以上の団体料金 ※小学生以下及び障害をお持ちの方とその介護者は無料。

※第三水曜日は65歳以上無料、東京都写真美術館友の会会員無料。

主催○東京都/東京都写真美術館/読売新聞東京本社/美術館連絡協議会

後援○江戸開府400年事業推進協議会

助成○財団法人地域創造

協賛○富士写真フイルム/花王

協力○サッポロビール

東京都写真美術館 2階展示室

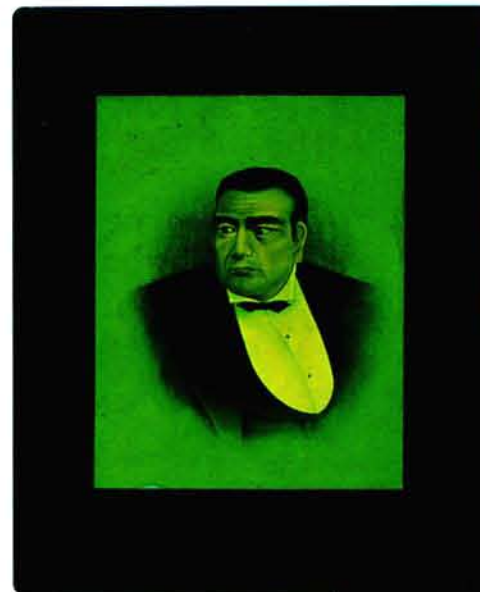
恵比寿ガーデンプレイス内

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

TEL03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com>



宝くじは、広く社会に
役立てられています。



西郷隆盛像
小島澤亮・
明治中期
勝芳邦氏蔵

武士
小堀納言
明治30(1897)年
東京芸術大学大学美術館蔵



*作品保存のため、11月5日から展示内容が変更になります。
ご了承ください。

特別展示 「龍馬が江戸にやってくる」 11月15日(土) (特別協力:高知県立歴史民俗資料館)

本展では高知県でしか見るのできない「坂本龍馬像」(上野彦馬)を特別出品します。
本年11月15日は龍馬が32歳の若さで死去してから137回目の命日にあたります。
世界に1点しかない龍馬の魂に触れる貴重な機会となるでしょう。



菊花紋を掲げる武士
作者不詳
慶応4(1868)年頃
岐阜県歴史資料館蔵

ペリー横浜来航の図
ウィリアム・ハイネ
嘉永6(1853)年
東京都江戸東京博物館蔵



戦 乱の世が明け、士が社会の中心となった江戸時代。合戦図、肖像画、神将図、錦絵など、手わざによる日本絵画の中で、士の姿は血肉を持ち続けていました。しかし、ここにひとつの事件が起こります。安政元(一八五四)年、アメリカ合衆国海軍提督ペリーに同行した写真師エリファレット・ブラウン・ジュニアが、士を写真におさめ、幕末日本を活写したのです。

このとき、日本に写真と絵画の関係が生まれ、互いの歴史を紡ぎながら螺旋のように交わってゆくこととなるのです。

本展では、江戸開府四〇〇年を迎え、さまざまなかたちで表現された士を取りあげます。写真の分野からは、日本で最初に制作されたダゲレオタイプ(銀板写真)をはじめ、アンブロタイプ(ガラス湿板写真)、アルビュメン・プリント(鶏卵紙)など、幕

末・明治期に制作されたオリジナルの作品を展示します。また、江戸初期からの日本絵画、錦絵、石版画、油絵など明治三〇年代までのさまざまなジャンルの図像を展覧。江戸時代の初期から幕末、そして、近代日本の幕があける明治時代。表現された士たちは時代を縦断し、様々な媒体によって制作された当時の姿で現れます。

かつて、士は羨望を受け、自らの誇りに生き、想いは遙か外洋を望んでいました。写真・絵画・版画において、士のダンディズムはどのように捉えられたのでしょうか。伝承されていく(誇・偶像や武勇伝への《憧》・外洋から、そして、外洋へ《望》)武士の姿。これら三つの角度から士を見わたし、表現された男たちの姿に迫ります。

関連事業のご案内

■記念講演会

「幕末期における絵画と写真の交差」

日時○11月9日(日) 14:00-16:00

会場○東京都写真美術館1階ホール

※本展観覧券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

詳細は、ホームページ(<http://www.syabi.com>)をご参照ください。

■フロアレクチャー

毎月第2・4金曜日の午後2時より担当学芸員による展示解説を行います。観覧券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

Tokyo Metropolitan
Museum of Photography

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

TEL03-3280-0099

URL: <http://www.syabi.com>



東京都写真美術館